

誰ひとり取り残さない飛島村の教育 ～ 校内支援体制の充実 ～

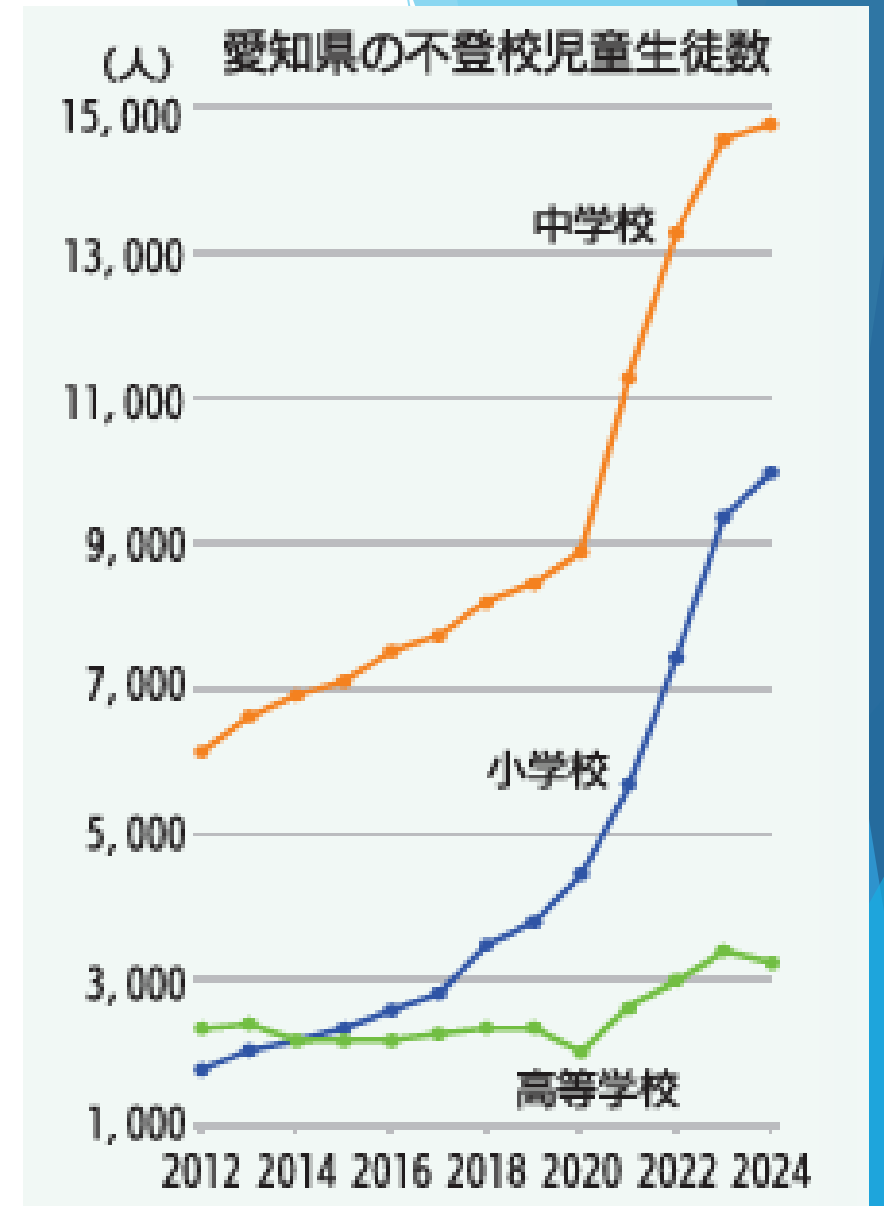
【現状と課題】

児童・生徒数：
減少

不登校児童 生徒数：
急増

- ・ 個々の生徒の状況にあった学びの場の設定
- ・ 円滑な学校復帰及び社会的自立支援

魅力的な学校づくりの必要性



あいちの教育ビジョン2030 参照

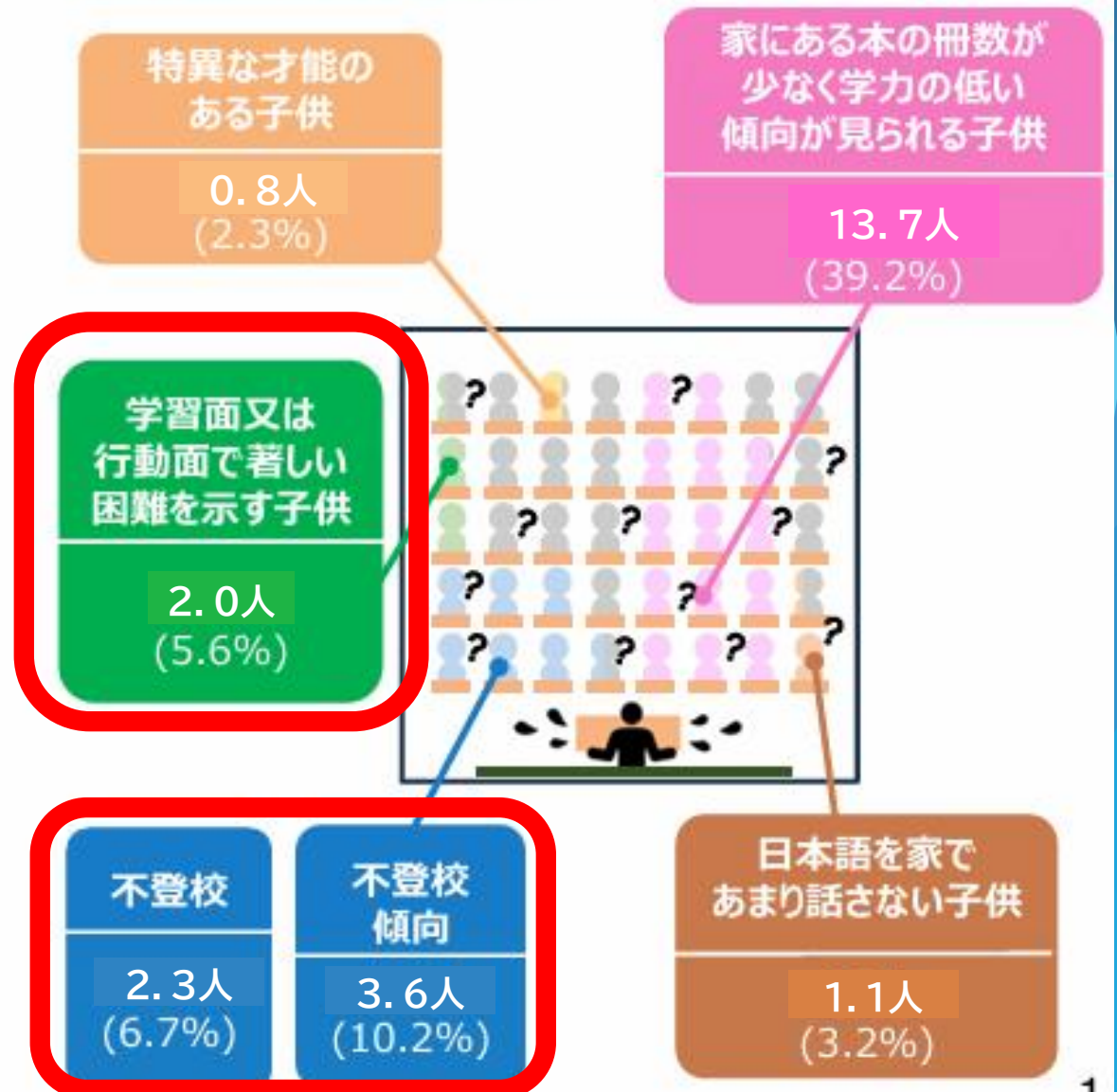
【現状と課題】

35人学級における多様性

小学校（35人学級）



中学校（35人学級）



【現状と課題】

飛島学園では

全国(小学校)

学習面又は
行動面で著しい
困難を示す子ども

10.4%



飛島学園(前期課程)

学習面又は
行動面で著しい
困難を示す子ども

約14%

全国(中学校)

学習面又は
行動面で著しい
困難を示す子ども

5.6%



飛島学園(後期課程)

学習面又は
行動面で著しい
困難を示す子ども

約10%

飛島学園 (全体)

学習面又は
行動面で著しい
困難を示す子ども

約12%

【現状と課題】

飛島学園では

全国(小学校)

不登校 or
不登校傾向

13.9%



飛島学園(前期課程)
(6月末現在)

不登校 or
不登校傾向

約1.5%

全国(中学校)

不登校 or
不登校傾向

16.9%



飛島学園(後期課程)
(6月末現在)

不登校 or
不登校傾向

約3.1%

【現状と課題】

発達障がいの疑いや診断を受ける生徒が多く
学習面・生活面で支援を必要
とする生徒が増加



学校生活への不応や不登校傾向

【支援教育の現状】

従来の考え方



【特別支援学級】

交流



【通常の学級】

【支援教育の目指す姿】

飛島学園の考え方

【多様な学びの場】



令和7年度
5月開始

令和8年度
4月開始

通級指導
教室

特別支援
学級

日本語
指導教室

サポート
ルーム①

サポート
ルーム②

必要な
支援を
受ける

子ども

子ども

子ども

子ども

子ども

必要な
支援を
受ける

すべて子どもの
居場所

【通常の学級】



【重点施策】

○多様な学びの場の充実

〈安心して過ごせる居場所づくり〉

令和7年度
5月開始

サポートルーム①

後期課程 生徒3名利用

サポートルーム②

前期課程 生徒利用

令和8年度
4月開始

- ・ 通常の学級に在籍している生徒対象
- ・ 国語や算数の学習支援や教育相談を行う
- ・ 心の安定と成長を図りつつ、学校生活をよりよく送ることができるよう支援していく

【重点施策】

○多様な学びの場の充実

〈一人一人に応じた学習支援〉

【例①】 高学年になり、学習についていけず、学校を休みがちに…

➡ サポートルーム②

【例②】 授業が分からず、私語が増えてクラスの雰囲気を壊すように…

➡ サポートルーム②

【例③】 友だち関係の悩みより欠席が続くように…

➡ 教育支援教室「きらり」

【重点施策】

○多様な学びの場の充実

〈安心して過ごせる居場所づくり〉

通級指導教室

- ・ 11名の生徒が利用
- ・ 生活上の困難の改善や克服を目的とした指導
(コミュニケーションや対人関係のスキル習得)
- ・ 個に応じた「特別の指導」
(基礎的な学習の力を伸ばす)
(自分の得意な学習方法を知る)

特別支援学級

- ・ 生徒の実態に応じた教育課程の編成
- ・ 生徒一人一人の障害等に配慮した支援

【前期課程 2学級】

- ・ 自閉症・情緒障害学級
- ・ 知的障害学級

【後期課程 2学級】

- ・ 自閉症・情緒障害学級
- ・ 知的障害学級

日本語指導教室

- ・ 外国にルーツをもつ生徒への日本語指導
- ・ 個別指導やグループ指導で実施
- ・ 一人 5～11時間の指導を実施

【重点施策】

○校内支援体制の充実



【重点施策】

○通常の学級（すべての子どもの居場所）の取組 授業改善（授業アドバイザーによる月1回の指導等）



ICTの活用（分かりやすい授業のためにICT活用等）





チーム
飛島学園
で支援



村全体
で支援

